

新年の幸せを願って しめ飾り清祓い式

「フラワー&ガーデンたかはしダリア」の本店倉庫で12月13日、正月用しめ飾りの清祓い式が行われました。新年を迎える準備を始める日である「正月事始め」を前に行われる恒例行事。玄関用の「玉ジメ」、神棚用の「宝船」など約40種類4,000点以上のしめ飾りが並べられお祓いを受けました。



栗山高校・町内会が交流を深める 手作りカレンダーをプレゼント

栗山高校で選択科目「生活と福祉」を学ぶ3年生9人が南町内会、松栄町内会で行われている事業「ふれあいサロン」の参加者に手作りカレンダーをプレゼントしました。高校生たちは、装飾に使った花のちぎり絵の説明や参加者へのメッセージを交えながら、一人ひとりがカレンダーを手渡しました。



手話のある暮らしを学ぶ 栗山小3年生が手話講座

栗山小の3年生が12月1日、総合的な学習として手話の体験授業を行いました。講師にくりやま手話の会の村上美佳さん、羽鳥弥香さんを招き、障がい者の生活や基本的な手話の作法などを学習。3年1組の古澤碧^{あお}さんは「楽しかったです。手話で自己紹介もできて良かったです」と笑顔で話していました。



北海道知事賞を受賞 「2022北の地域住宅賞」曙団地

住宅団地の整備や地域性に応じた取り組みなどを表彰する「2022北の地域住宅賞」で、大賞にあたる北海道知事賞に曙団地（角田）が選ばれました。小林酒造レンガ倉庫群の壁をイメージした赤茶色系で統一し、田園地帯と調和した自然景観に配慮した造りなどが評価され今回の受賞となりました。



継立チームがアベック優勝 第41回全町ミニバレーボール大会

第41回全町ミニバレーボール大会が、12月11日、町スポーツセンターで開かれました。大会には全16チームが参加し、選手たちは仲間の声援を受け、全試合一歩も譲らない熱戦を披露。結果は、継立チームが男女ともに大会を制覇し見事アベック優勝を果たしました。



昔の文化に触れる 栗山キッズクラブ

年間通して、栗山だからこそできる体験を行う青少年体験学校「栗山キッズクラブ」の活動が12月11日、農村環境改善センターで行われました。当日は24人が参加し、子どもたちは餅つきと昔遊びを体験。栗山小6年の山崎美里さんは「駒回しが難しかったけど、餅つきも楽しかったです」と話していました。



勝利を目指して 女子サッカーチームの中学生が全国出場

女子サッカーチーム「岩見沢FCルファヴェニール」と「北海道リラ・コンサドーレ」に所属する栗山中の8人が全国大会への出場を決め、12月5日、佐々木学町長と吉田政和教育長を表敬訪問しました。選手たちは「一戦でも多く勝ち進みたいです」と力強く話していました。



絵本を通じてトラックに親しみを 札幌地区トラック協会が絵本を寄贈

一般社団法人札幌地区トラック協会が小学校など全12カ所に絵本を寄贈し、11月25日、同協会の工藤英人支部長が吉田政和教育長に手渡しました。絵本は札幌市在住の絵本作家そらさん作「ランディーとおおゆきのひ」という作品。毎年さまざまな絵本が送られており、今年で7回目となりました。

